

## 第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本方針

## 1) 総合戦略の目的

当市の「産・官・学・金・労・民」の各主体が地域を挙げた地方創生（人口減少対策）を推進していく上での「目的・目標の共有化」「施策・事業の明確化」「団体間の関係性の明確化」を目的として策定するもの。

## 2) 総合戦略の期間

5年間（令和2年度～令和6年度）

## 3) 全体目標

若者・子育て世代にとって「選ばれるまち」「住み続けたいまち」の実現

## 4) 将来人口の目標

「合計特殊出生率1.68以上を目指しつつ、転出超過の傾向の改善を図ることによって、人口減少傾向の緩和を図り、令和22年（2040年）には約15万4千人以上、令和42年（2060年）には約11万6千人以上の人口を維持する。」

第1期における上越市の人口は、国立社会保障・人口問題研究所が算出した「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）」を上回る速度で減少している。第2期の将来人口の目標は、第1期の目標（算出の考え方）を維持し、更なる取組の強化により、目標達成を目指す。

## 5) 第2期総合戦略の視点

①特化した産業分野の強力推進

②多様な雇用機会の創出

③自然な出会い等の場づくり

④ワークライフバランスの強化

⑤多様な地域の取組の推進

（域内交流の場づくり、情報発信、稼げる市民活動等）

⑥地域への理解・愛着向上

（まちづくりへの参画、中高生とその親へのアプローチ等）

⑦移住施策強化

⑧人材育成、若者・外部人材等活躍

6) 第2期総合戦略の各政策分野

第2期総合戦略は、視点を踏まえて以下の4分野・政策目標とする。

①しごとづくり

政策目標「安定的で魅力ある雇用を創出する」

②結婚・出産・子育て

政策目標「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境を整える」

③まちの活性化

政策目標「時代に合った地域を形成し、地域間連携を活発化させる」

④U I Jターンとまちの拠点性・担い手づくり

政策目標「多様な人の流れやまちを担う人を創出する」

※下線部が現総合戦略との変更点